

平成29年度 第4回 防府市地域公共交通活性化協議会 議事録（要旨）

■開催日時・場所

平成30年1月19日（金）午前10時00分から午前11時00分まで
防府市文化福社会館 3階4号 大会議室

■次第

1. 開会
2. 議題
 - (1) 防府市地域公共交通網形成計画（案）について
 - (2) 平成30年度の切畑デマンドタクシー運行事業者について
3. その他
 - ・平成29年度第5回防府市地域公共交通活性化協議会の議事に係る書面協議について

■配付資料

	資料名
1	平成29年度第4回防府市地域公共交通活性化協議会 次第
2	防府市地域公共交通網形成計画（案）
3	平成30年度の切畑地区デマンドタクシー運行事業者について

■会議風景



■出席者名簿

敬称略・順不同

	区分	所属団体・役職	名前	出欠	
委員	学識経験者	徳山工業高等専門学校 土木建築工学科教授	古田 健一	出席	
		徳山工業高等専門学校 土木建築工学科准教授	目山 直樹	出席	
	地域公共交通の利用者等	防府市自治会連合会 会長	広石 聖	欠席	
		防府市女性団体連絡協議会 会長	大村 弘子	出席	
		防府市老人クラブ連合会 理事	田中 太一	出席	
		防府市障害福祉団体連合会 会長	中村 信也	出席	
		防府商工会議所 商業部会長	坂本 恵次	出席	
		(一社)防府医師会 副会長	木村 正統 (代理：吉村 廣樹)	代理 出席	
		市民代表	田邊 千寿子	出席	
		市民代表	清水 重子	欠席	
	公共交通事業者等	防長交通(株) 取締役営業部長	寶迫 啓之	出席	
		中国ジェイアールバス(株) 運輸部生活交通活性化推進室長	河内 政好	出席	
		西日本旅客鉄道(株) 広島支社徳山地域鉄道部 防府駅長	徳永 良和	欠席	
		山口県タクシー協会防府地区事業者 (湯田都タクシー(株) 常務取締役)	後根 達成	出席	
		(有)野島海運 取締役	阿部 幸典	出席	
		(公社)山口県バス協会 専務理事	柳木 和人	出席	
		(一社)山口県タクシー協会 理事	大隅 洋三	出席	
		山口県交通運輸産業労働組合協議会 (私鉄中国地方労働組合防長交通支部 書記長)	手嶋 謙介	出席	
	道路管理者 港湾管理者	中国地方整備局山口河川国道事務所 交通対策課長	大下 孝志	出席	
		山口県防府土木建築事務所 維持管理第一課長	伊藤 択治	出席	
		山口県防府港務所 主査	榮 幸治	出席	
	警察	防府警察署 交通課長	原田 英樹 (代理：吉岡 真吾)	代理 出席	
	関係機関	中国運輸局山口運輸支局 首席運輸企画専門官	宗像 恵太郎	出席	
		山口県観光スポーツ文化部 交通政策課長	京牟礼 英二 (代理：今井 和之)	代理 出席	
	計画作成市	防府市 副市長	村田 太	出席	
	事務局		総合政策部 部長	熊野 博之	
			総合政策部 部次長 兼 総合政策課 課長	亀井 幸一	
			総合政策部総合政策課 課長補佐	桑田 智史	

事務局		総合政策部総合政策課交通政策係 係長	岸本 理志	
		総合政策部総合政策課交通政策係 主任主事	藤崎 雄士	
		総合政策部総合政策課交通政策係 主任主事	飯分 徹	
計画策定業務受託業者		株式会社バイタルリード	森山 昌幸	
		株式会社バイタルリード	武田 侑子	

■議事録

1. 開 会

会長あいさつ

欠席者・代理出席について連絡。

2. 議事

会長より会議の公開について確認後、議事進行。

(1) 防府市地域公共交通網形成計画（案）について

事務局より「防府市地域公共交通網形成計画（案）」について説明。

◎協議結果

軽微な変更は事務局に一任し、パブリックコメントを実施するための計画（案）とする。

A 委員 落合線の検討エリアを広げたとのことだが、落合線以外に秋穂方面などの路線バスがエリア内を運行するので、参考として落合線以外のバス路線も掲載する必要があると思う。

事務局 想定地域の再編を検討している路線をわかりやすくするため、落合線のみを掲載していたが、検討エリアに関係する路線は他の図表も併せて参考に掲載する。

B 委員 事業2「市街地循環線の導入検討」の実施期間が平成30年度からになっている。本格運行の路線等は、実証運行の内容と変更するのか。また、本格導入するのは、4月からということではないのか。

事務局 2ヶ月間実証運行を行い、計画（案）に掲載するような検討課題が挙がっている。防府駅南側の運行を望む声も自由意見の中に多くあった。この2つの路線を検討していく上では、今のルートのままではいけないと思っている。防府駅南側も含めたルートを検討し、再度テストすることが必要だと思っている。60ページの「⑦市街地循環ワゴンの方向性」にも記載したが、まちくるワゴンの沿線地域に住んでいる方の利用だけではなく、周辺地域に住んでいる方がバスや鉄道で防府駅まで出てきて、そこで乗り換えて利用できる交通モードとなるような公共交通体系を形成して市街地循環線が生きてくると考えている。それらと併せて進めたい。実施時期は来年度にはならないということで理解いただきたい。

C 委員 52ページの運行期間に運行日数を記載した方がよい。また、54ページに東回りが0.9人、西回りが1.0人という1便当たりの平均利用者数も付け加えた方がよい。1便当たりの平均利用者数が2人以上でないとフィーダー補助対象にならないので、その目安にもなる。

事務局 運行日数と1便当たりの平均利用者数について記載する。

D 委員 小野地域だが、路線バスが日中1時間半に1本くらいで運行している。足の悪い人から特に日中に運行してほしいという意見が出ているが、いつ頃、地域に入るのか。特に真尾地区の一部地域から意見が出ている。

事務局 計画に記載している事業を一度に全て進めることはできないが、順番を決めて地域に入り、個別の話を聞いた上で実施計画を考えたい。財政の問題やバス事業者の考えもある。その上で方針を定めて協議会に諮り、練っていききたい。時間がかかるが、今の意見は承ったので、地域との協議の中で進めていききたい。ご理解いただきたい。

E 委員 59、60ページに「実証運行での運行上の問題点・今後の課題」とあるが、文章のみで記載しており、ポイントがわかりにくい。例えば検討箇所にアンダーラインを入れるなどして一目見ただけでポイントがわかるようにしてほしい。

事務局 ポイントがわかりやすくなるように修正する。

(2) 平成30年度の切畑デマンドタクシー運行事業者について

事務局より、「平成30年度の切畑地区デマンドタクシー運行事業者について」を説明。

◎協議結果

平成30年度の切畑地区デマンドタクシー運行事業者を「麒麟交通株式会社」とする。

3. その他

F 委員 次年度以降の対応になると思うが、地域公共交通再編実施計画がある。公共交通の再編だけでなく、今回の意見をもとに市政全般に展開がなされるように希望する。本質と少し離れるが、まちくるワゴンの運行で、交通事業者の協力は非常に高いと思われる。乗車時の運転手のマナーに対する満足度が高い。今後も引き続き事業者にも協力していただき、そういったところの称賛も忘れずやっていただきたい。

4. 閉会

副会長あいさつ